

**トイレ 便器の種類**：便器の素材にこだわり簡単なお掃除で新品状態がずっと続く便器、自ら除菌水を生成しキレイを保つ便器、においを脱臭してくれる便器も出ています。毎日使うものですから、掃除のしやすい便器で、節水タイプの便器をおすすめします。

以前に比べて、便器自体もコンパクトになっています。リフォームの際には、トイレのスペースにトイレ手洗いが付かないか聞いてみましょう。トイレ手洗いもおしゃれでコンパクトなものがたくさん出ていますので、ショールームで見てみてください。

→ここから

### 素材から選ぶ便器

便器の素材には、**陶器製**と思われがちですが、有機ガラス系新素材で作られた**樹脂製**のものがあります。Panasonicの『アラウーノ』です。お掃除をラクにしたい方におススメです。陶器と違い、汚れの原因「水アカ」が固着しにくいのです。そして、この新素材「割れ」や「キズ」にも強いし、樹脂製なので、汚れが入るスキマやフチ溝もなく、段差のない形状を実現。さっとふくだけでキレイになります。流すたび、泡が出てくるのも驚きです。しかも、目安ですが、市販の台所用洗剤を3ヶ月に1回入れるだけで「泡洗浄」してくれるのです。お掃除がラクでうれしくなってしまいますね。

しかし、お手入れには注意が必要です。研磨入りブラシやナイロンブラシを使用してはいけません。便器表面をキズ付けて、故障や割れ・破損につながる原因になります。ポリプロピレン製ブラシを、洗剤も中世のトイレ用洗剤をお使い下さい。



**陶器製**も進化し続けています。陶器の技術を磨いておられます。

TOTOは、「セフィオンテクト」の便器を開発。マイクロレベルの汚れやカビが付着しにくく、落ちやすい陶器表面になっています。便器に座ると自動で便器にミストを吹きつけて水のクッションをつくる新技術を備えています。

LIXILは、新品時のツルツルが100年続く「アクアセラミック」という新素材の便器を出してきました。リンク状の黒ずみやくすみの原因となる水アカがこびりつきません。

便座の部分は、暖房便座、洗浄機能、オート開閉など、うれしい快適機能がいっぱいですが、電化製品と同じです。家電の寿命と同じだと考えた方がいいでしょう。

便座部分は、TOTO も LIXIL も樹脂製なので、お手入れには注意が必要です。

固く絞った雑巾で水拭きしただけでキレイは保てますが、汚れを放置してはいけません。専用のクリーナーやトイレ用のお掃除ティッシュ・トイレクイックルなどを、汚れが目立つ時に、使うというのは、経済的ではありますが、**汚れが目立つ前に、汚れを感じたらすぐに、トイレに行ったついでに、**トイレ用のお掃除ティッシュを使われるといいと思います。簡単にすばやくが、おススメです。そうでないと、「まっいいか」になりがちです。日々のお掃除ティッシュは、安いモノでいいと思います。他にも、「即席ふき取りシート」をトイレットペーパーで作れる、トイレのふき取りクリーナーもあります。クリーナーを吹きかけてもボロボロにならないモノです。量も洗剤も自分で調整できるので経済的です。そうすれば、ちゃんとした掃除のサイクルが長くなりますし、その時のお掃除もラクですよ。

